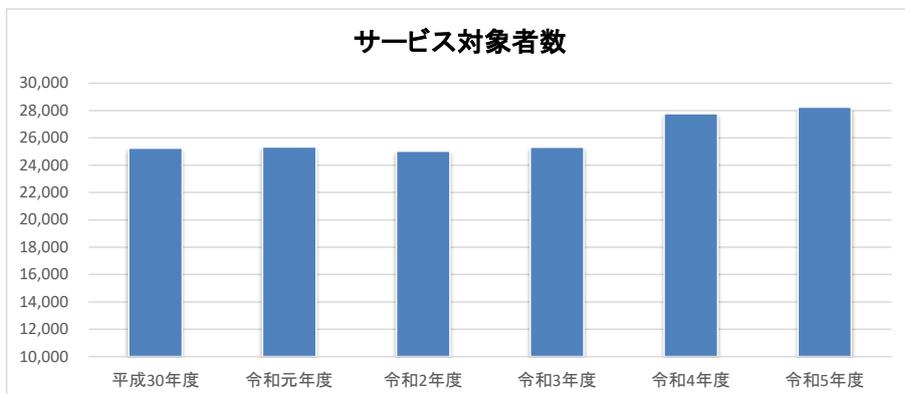


中央図書館利用状況

I サービス対象者

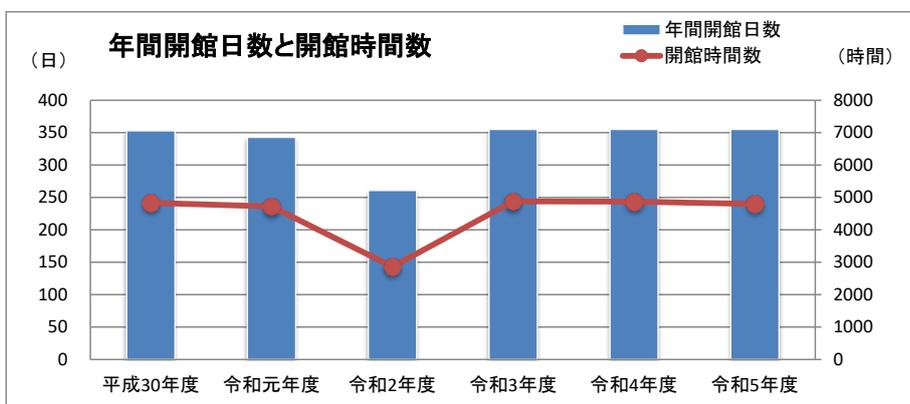
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サービス対象者数(人)	25,240	25,331	25,033	25,323	27,774	28,247



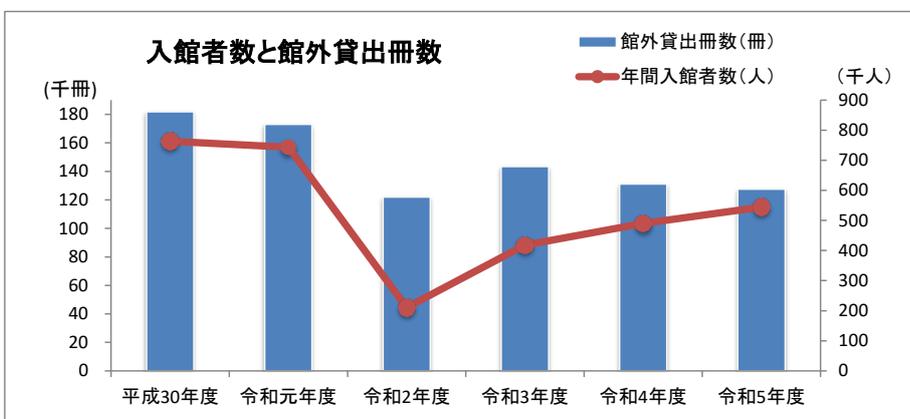
備考
サービス対象者には、非常勤教員、非常勤職員もデータを含む。
令和4年度から受入教員、招へい教員を含む。

II 閲覧サービス

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間開館日数	353	343	261	355	355	355
開館時間数	4,837	4,722	2,863	4,882	4,870	4,801
年間入館者数(人)	763,319	743,709	210,683	418,101	490,082	544,161
館外貸出冊数(冊)	181,795	173,042	121,989	143,453	131,121	127,461



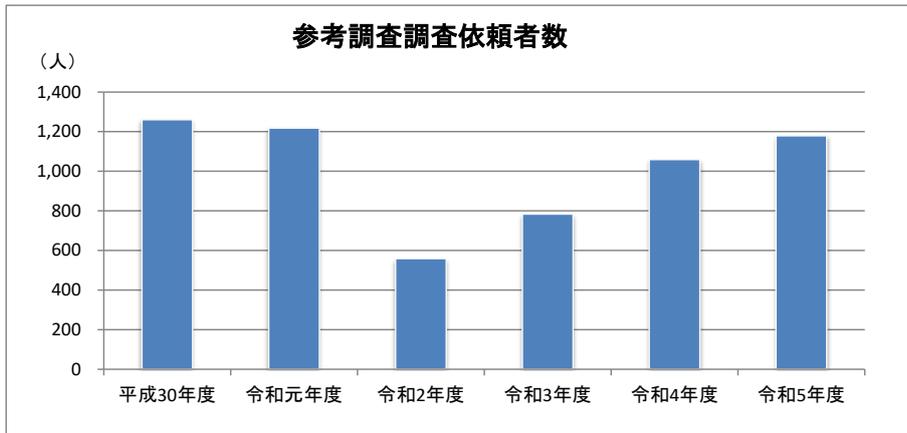
備考
・令和2年3月 新型コロナウイルス感染症対応のため短縮開館(平日9-17時、休日8:45-22時)
・令和2年度 臨時休館(4/18-5/18、11/13-16)、短縮開館4~10月: 平日9-17時、11月: 平日9-22時(休日8:45-22時)
・令和5年4月 経費削減のため開館時間を短縮(平日8-21時、休日10:15-18:30)、同年5月からは規程が定める開館時間に戻した。



備考
・令和2年3月 新型コロナウイルス感染症対応のため短縮開館及び一部サービスを変更。
・令和2年度 臨時休館、短縮開館及び一部サービスを変更(閲覧席の利用制限、学外者の入館制限)。
・令和3・4年度 引き続き一部サービスを変更。
・令和5年度の入館者数は、令和元年度の73%である。

Ⅲ 参考調査サービス

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調査依頼者数(人)	1,261	1,218	559	784	1,059	1,179
他機関への調査依頼(件)	35	20	47	58	24	8

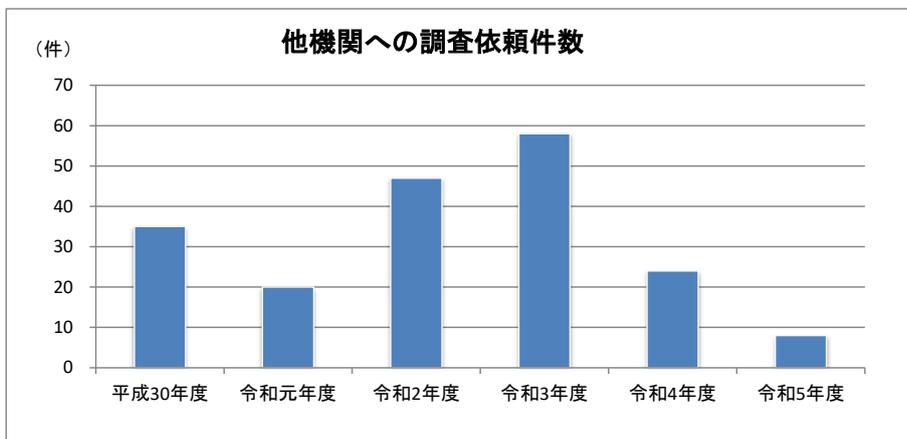


備考

来館利用者からの依頼のみ計上

・令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症対応にともなう入館者数の減少により、参考調査依頼者数が減少した。

・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され始めたことにより、来館者増加にともなって相談件数も増加したと考えられる。令和5年度も前年と比べて増加し、新型コロナウイルス感染症対応前の水準に戻りつつある。



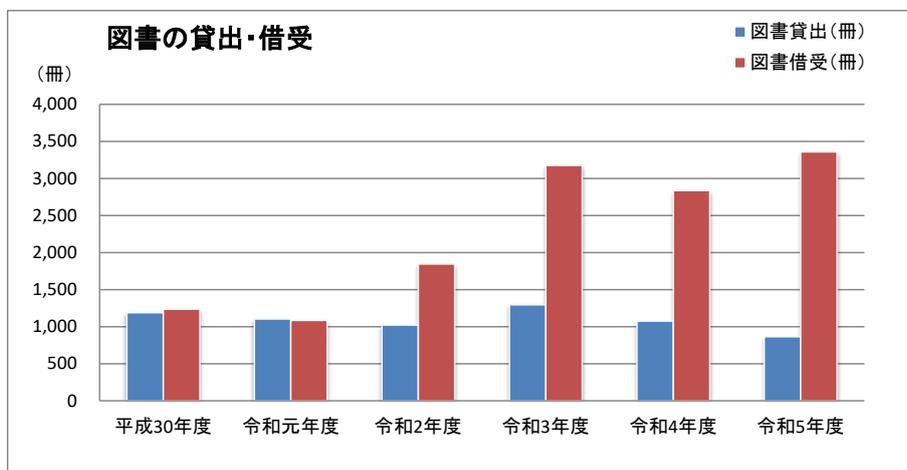
備考

・令和2年度は、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったため、他機関への調査依頼件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度以降は、他機関への調査依頼件数が減少した。かねてより機関リポジトリや国会図書館デジタルコレクション等、Web上で公開されるデジタル資料が増加してきたことに伴い、図書館職員・利用者自身によるインターネット検索で調査できる範囲が拡大したことや、本学のILL無償化により、資料を取り寄せたうえで、利用者自身により調査を行うことができるようになったことも一因と考えられる。

Ⅳ 相互利用サービス(他機関)

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
図書貸出(冊)	1,188	1,104	1,020	1,296	1,076	865
図書借受(冊)	1,235	1,085	1,845	3,176	2,835	3,358
文献複写受付件数(件)	2,541	1,763	1,993	2,263	1,933	1,904
文献複写依頼件数(件)	3,502	2,774	4,970	7,793	4,319	4,039
他機関への利用申請(件)	64	56	2	9	30	26



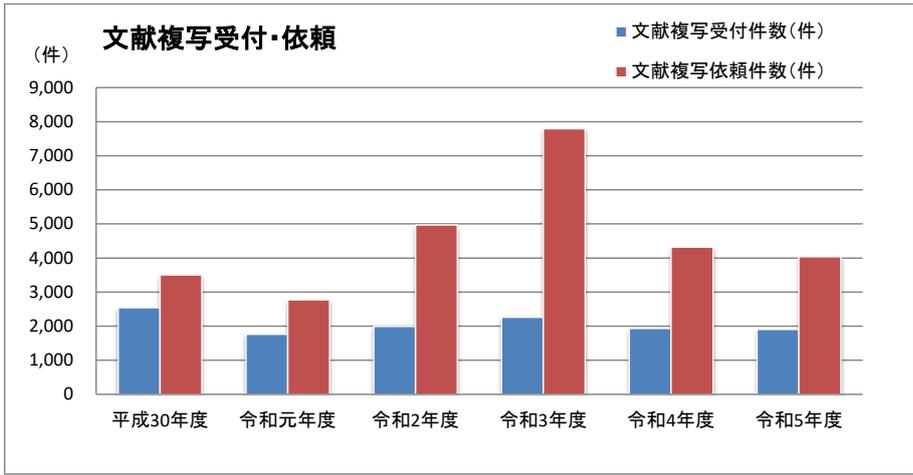
備考

・全国的に平成22年度以降は減少傾向であり、令和2年度までは落ち込み続けたが、令和3年度は増加に転じている(NACSIS-ILL)。

図書借受に関して全国の傾向と一致せず増減があるのは、愛知県図書館便での取り寄せが一因になっている。

・令和2年度、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関からの図書借受件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和5年は、図書貸出冊数が減少し、借受冊数が増加した。借受冊数増加は、ILL集約と無償化が定着したことが理由と考えられる。



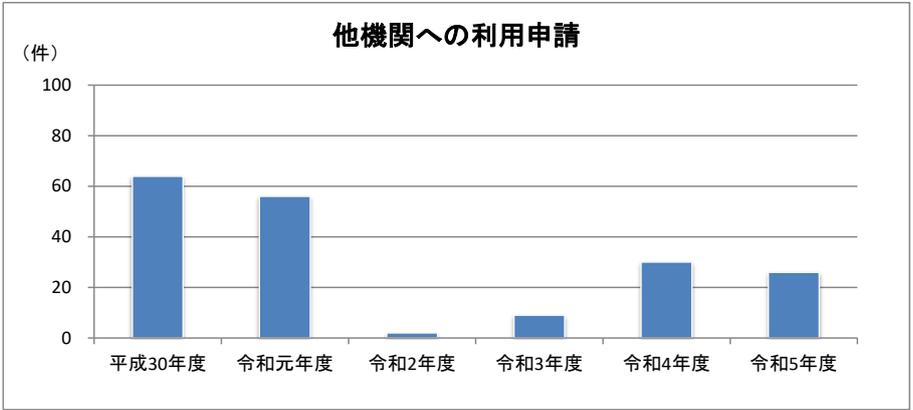
備考

・電子ジャーナルの影響で、全国的に2005年(H17)以降は減少傾向。令和3年度は増加に転じている(NACSIS-ILL)。

依頼に関して

・平成24年度から、申込者の費用負担を軽減するサービスを実施している(H24年度は試行)。
 ・令和2年度は、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関への文献複写依頼件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限や移動自粛が緩和され始めたことにより、他機関への文献複写依頼件数が減少したと考えられる。令和5年度は前年と同程度の文献複写受付・依頼があった。



備考

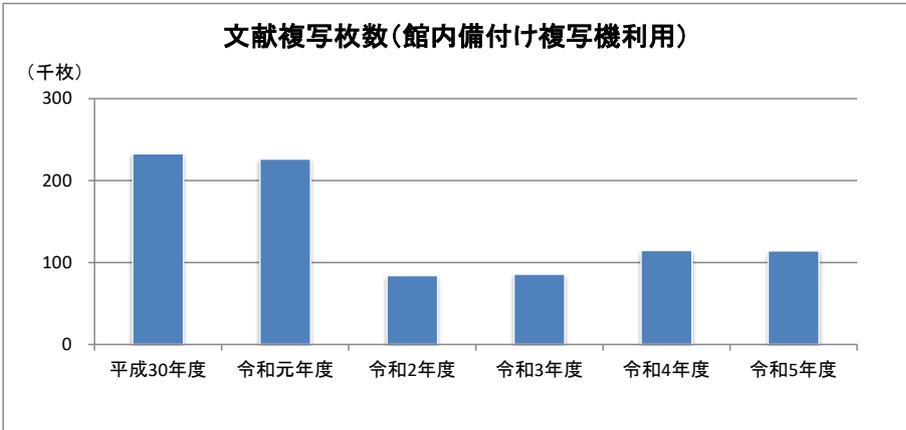
本学含め申請なしで利用を受け入れる機関が増えているが、申請が必要な機関を複数回利用する人がいる年は、必ずしも減少しない。

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている他機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関への利用申請件数が減少した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のための外出自粛が減少し、他機関においても入館制限が緩和され始めたことにより、利用申請が増加したと考えられる。令和5年度は微減だが同程度の利用申請があった。

V 館内資料の文献複写利用

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
文献複写枚数(館内備付け複写機利用)(枚)	232,878	226,262	84,139	85,612	114,835	114,053
コピーデリバリー・サービス(件)	50	39	42	53	35	24

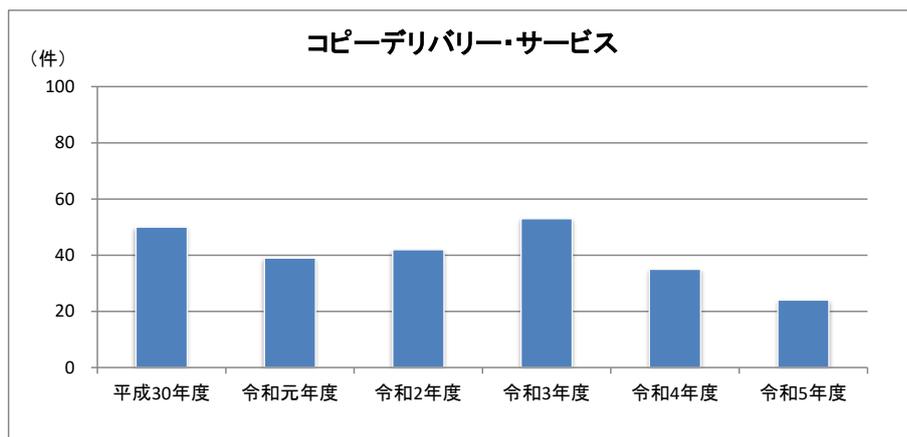


備考

減少傾向は、電子ジャーナルの普及や、学術機関リポジトリの効果要因であると考えられる。

・令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症対応にともなう入館者数の減少により、文献複写件数が減少した。

・令和4年度以降は、本学の新型コロナウイルス感染症対応が緩和され始めたことにより、来館者の増加に伴って館内の複写枚数も増加したと考えられる。



備考

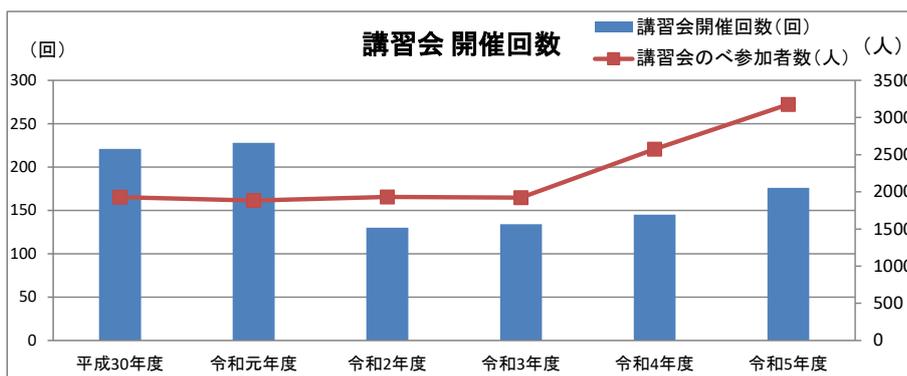
減少傾向は、電子ジャーナルの普及や、学術機関リポジトリの効果が要因であると考えられる。

・令和2年度はILL集約試行実施(10/1～)のためコピーデリバリーサービス件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

・令和4年度以降、医学部から依頼減少により減少に転じた。

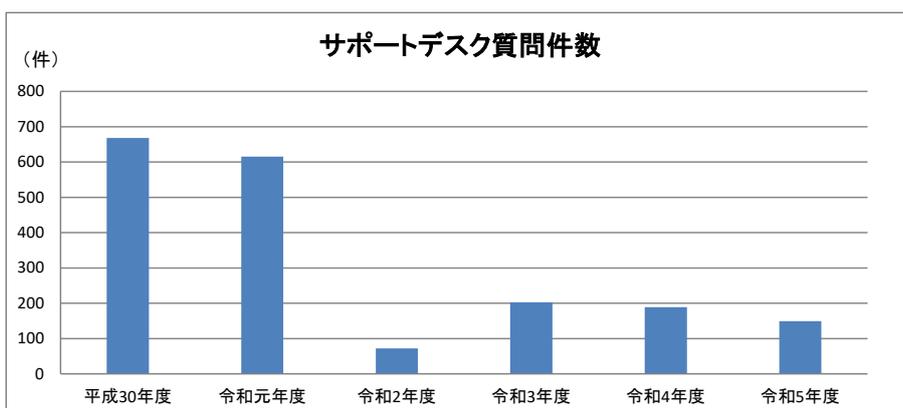
VI 学習支援サービス

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
講習会開催回数(回)	221	228	130	134	145	176
講習会のべ参加者数(人)	1927	1883	1933	1921	2573	3177
サポートデスク質問件数(件)	668	615	72	203	189	149



備考

・令和5年度は、コロナ禍において開催を見合わせていた対面での図書館ツアーなどを秋の留学生向けから再開した。また、ほぼオンラインにシフトしていた他の講座も一部、対面またはハイブリッド開催とした。これらにより講習会開催回数は純増し、加えてこれまで参加者数の計上がされていなかった「中央図書館ミッション・ラリー」について参加者数の計上が行えるようになったことなどから、参加者数は増加した。



備考

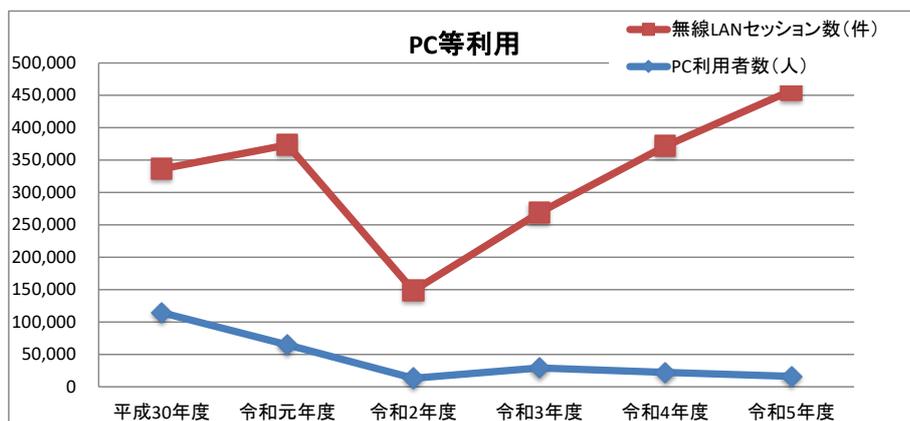
・新型コロナウイルス感染症対策のための休館やサポートデスクの休止などにより、質問件数が大きく落ち込んだ令和2年度から、開館日・来館者数の増加と歩調をあわせて、回復傾向にあった令和3年度と比較すると、令和4年度、令和5年度の質問件数については減少傾向が見られた。特に減っているのは館内無線LANの利用方法や館内PCのログインなどを尋ねるIT関係の質問で、これらについては館内掲示物や配付チラシを充実させることで自己解決できるようになった影響もあると見られる。また、サポートスタッフによる企画の増加による窓口業務の若干の縮小と、企画の中での質問受付で事足りることの影響も考えられる。

VII 館内施設利用

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
研究個室(件)	16,378	15,956	7,070	46,909	48,602	45,972	・令和2年3月～令和3年10月 新型コロナウイルス感染症対応のため一部施設の利用を休止。
サテライトラボ(件)	34	62	25	55	38	9	・令和3・4年度、引き続きディスカバリスクエアおよびライティングサポートブースの利用を休止。
セミナールームA、B(件)	162	157	13	38	163	135	
ディスカバリスクエア(件)	964	869	0	0	0	106	・令和3年度 研究個室35室に鍵を設置し、計59室の利用件数を計上。/ ワークポッド4室設置。/ ラーニングポッドC(計3室)の利用を申込制とし、利用件数に計上。/10月ラーニングポッドA/Bの利用を再開。/3月ワークポッド2室追加(計6室)。
ワークポッド(件)	-	-	-	5,017	7,958	7,467	
ラーニングポッド(件)	2,361	1,903	0	3,348	7,211	5,125	
ライティングサポートブース(件) *図書館申込のみ	14	47	0	0	0	-	
視聴覚ブース(件)	1,843	1,382	348	315	299	183	
ライブラリ・メイカースペース(件)	-	-	-	253	456	427	・令和5年4月 ディスカバリスクエアの利用を再開。/ライティングサポートブースの利用を再開、申込不要とした。
OKB大垣共立銀行高木家文書資料館(人)	-	3,721	1,071	1,827	1,352	2,008	

VIII PC等利用

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
PC利用者数(人)	114,582	64,690	13,178	29,257	22,209	16,151
無線LANセッション数(件)	336,433	373,477	148,446	268,777	371,641	457,421

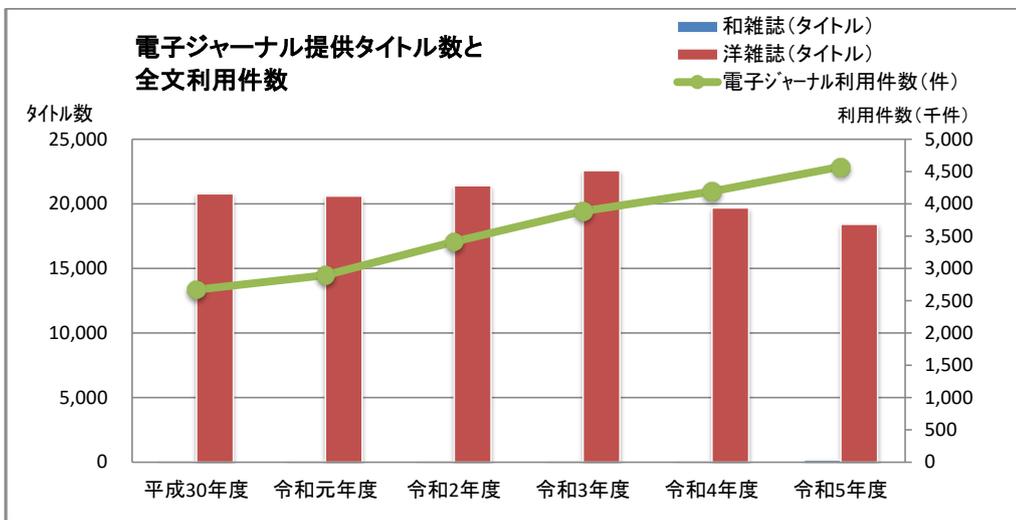


備 考

- ・令和元年度8～9月 情報メディア端末更新。
- ・令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応のため臨時休館、短縮開館、PC席の利用制限等。
- ・令和3・4年度 引き続き館内の一部サービスの変更(閲覧席の利用制限)。
- ・令和5年度の無線LANセッション数は、コロナ禍前を上回っている。

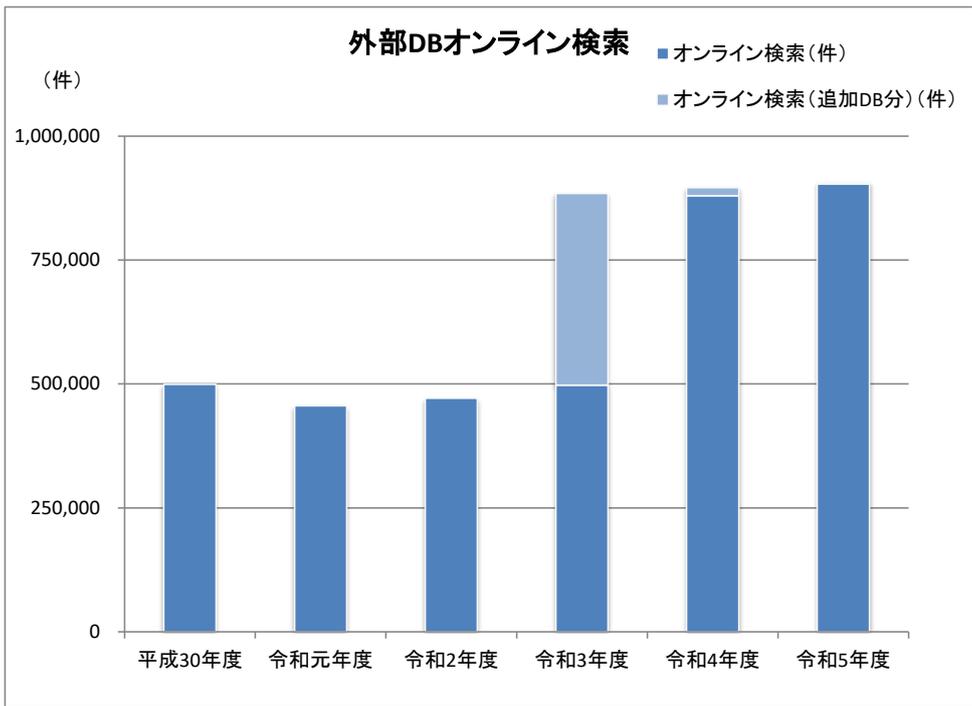
区電子図書館サービス

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
和雑誌(タイトル)	72	70	70	72	65	183
洋雑誌(タイトル)	20,776	20,608	21,416	22,588	19,685	18,424
電子ジャーナル利用件数(件)	2,671,848	2,895,503	3,414,439	3,885,842	4,191,101	4,575,410
オンライン検索(件)	499,295	456,022	471,154	497,473	879,756	903,721
オンライン検索(追加DB分)(件)	0	0	0	386,823	16,239	1,898



備考
電子ジャーナル提供タイトル数
(購読により最新号が利用できるタイトル
令和4年度よりEBSCO電子書籍数を除く)

全文利用件数
ScienceDirect
1,287,472件
SpringerLINK (Natureを合算)
1,098,076件
WileyOnlineLibrary
792,186件
ACS
617,708件
OUP
147,335件
など



備考
これまで計上していなかった下記について、主なDBとして各年度より追加で計上を行っている

令和3年度以降の追加計上
JapanKnowledge、Scopus (2021年4月導入)
医中誌Web、化学書資料館、
聞蔵IIビジュアル、国史大辞典、中日新聞、
日経テレコン、毎索、ヨミダス歴史館

令和4年度以降の追加計上
Oxford English Dictionary

令和5年度以降の追加計上
理科年表

下記については令和4年度より入替
聞蔵IIビジュアル→朝日新聞クロスサーチ